

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東淀川区
学校名	新庄小学校
学校長名	栄西 敏記

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に关心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 52名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、国語科は大阪市と全国を上回り、算数科は大阪市平均と同じであった。両教科とも平均値を推移し、これまでの研究の成果により、学習到達が成されている。

領域別にみると、国語科は「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」以外の全てにおいて、大阪市と全国を上回っている。「読むこと」については、6ポイント以上も大阪市と全国を上回っている。算数科は、「数と計算」において、大阪市と全国を上回っている。

平均無回答率は、国語科も算数科も、大阪市や全国より低く、最後まであきらめずに問題に取り組んだことが分かる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 大阪市の平均正答率を3ポイント上回る結果であった。ここ数年、記述式の問題の正答率が高く、本年度は10ポイント以上、上回っている。また、「読むこと」に関しては、物語の描写を捉えたり、人物像を想像したりすることがよくできていた。さらに、「書くこと」については、朝学習で「新庄っ子国語プリント」や「漢字検定の過去問プリント」に取り組んできたことで、高い水準を保つことができている。「情報の扱い方に関する事項」については、情報と情報との関連付けの仕方に課題があった。

〔算数〕 大阪市の平均正答率と同じ結果となった。しかしながら特に、「数と計算」の領域において、3ポイント以上、上回ることができた。これは、朝学習でデジタルドリルを活用したり、3年生以上は習熟度別少人数学習で授業を進めてきた成果である。「データ活用」については、表やグラフから数値を正しく読み取ったり、取り出したデータを分類整理したりすることに課題がみられた。

質問調査より

児童は落ち着いており、学習規律が身についている。国語科、算数科の授業の内容がよく分かると答える児童が昨年度に続いて多くなっている。授業の内容はよくわかっているが、文章を工夫してみたり、次の学習のために振り返ったりすることに課題がある。

「学校に行くのは楽しいと思うか」「自分にはよいところがあると思うか」という質問に肯定的に答える児童が大阪府や全国より高く、昨年度は低かったが、自尊感情を高める活動を多く取り入れることによって、上回ることができた。

今後の取組(アクションプラン)

自己を肯定する気持ちを持続させながら、学校生活を楽しく過ごせるような取り組みや活動を多く取り入れる。また、賞賛する機会を数多く設定していく。

学習において、国語科の取り組みとしては引き続き、2月の漢字検定を目標にした「新庄っ子国語プリント」や「漢字検定の過去問プリント」などに取り組んでいく。算数科においては、研究教科とし、児童の興味関心をひきつつ、多様な考えを持てるような取り組みを進めていく。両教科を通じて、話し合い活動を取り入れ、自分の考えを深めたり、新たな考えを気付いたりできるようにしていく。

【 全体の概要 】

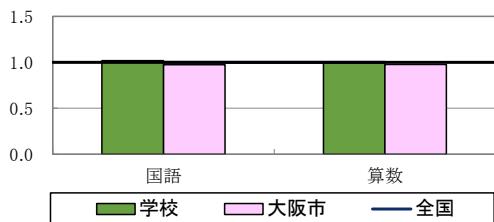
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	69	63
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

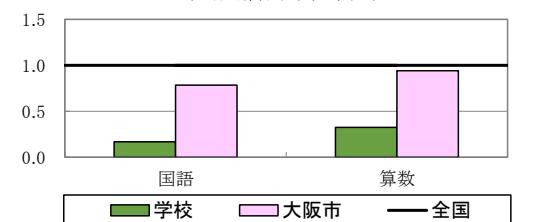
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	0.7	1.1
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



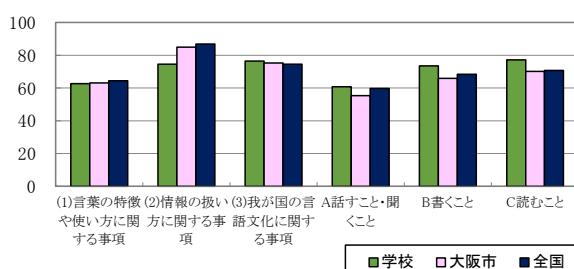
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	62.7	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に関する事項	1	74.5	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	76.5	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	60.8	55.3	59.8
B 書くこと	2	73.5	65.9	68.4
C 読むこと	3	77.1	70.1	70.7

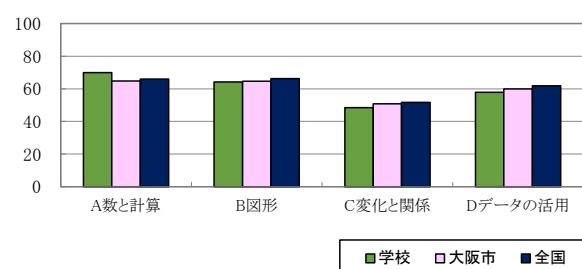
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	69.9	64.8	66.0
B 図形	4	64.2	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	48.4	50.8	51.7
D データの活用	4	57.8	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



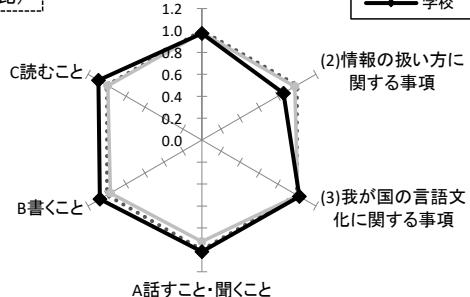
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

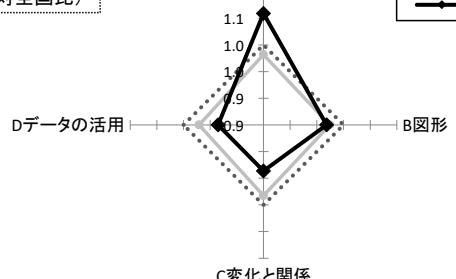
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項
(2)情報の扱い方に関する事項
(3)我が国の言語文化に関する事項

.....全国
大阪市
学校



算数
領域別正答率
(対全国比)

.....全国
大阪市
学校



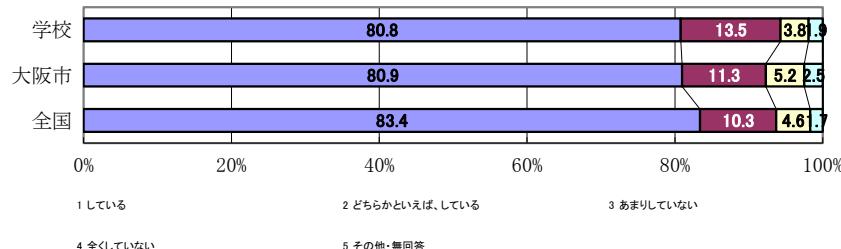
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

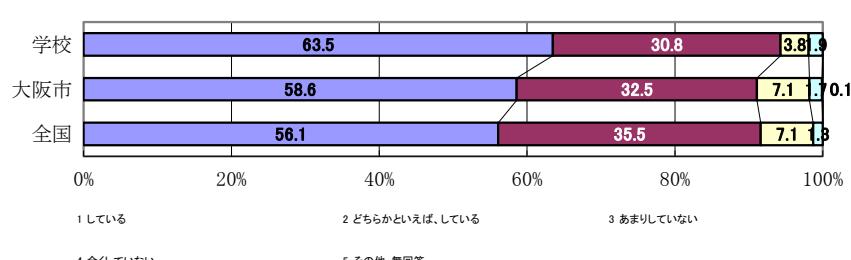
1

朝食を毎日食べていますか



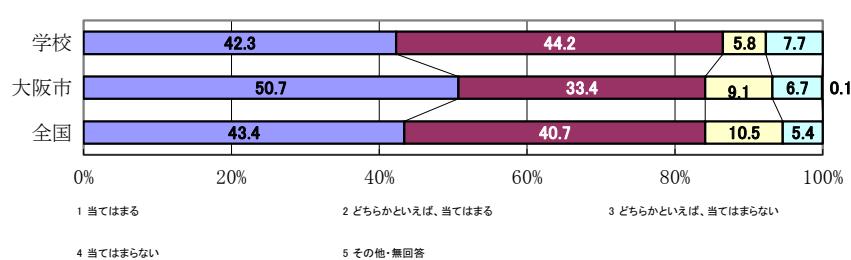
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



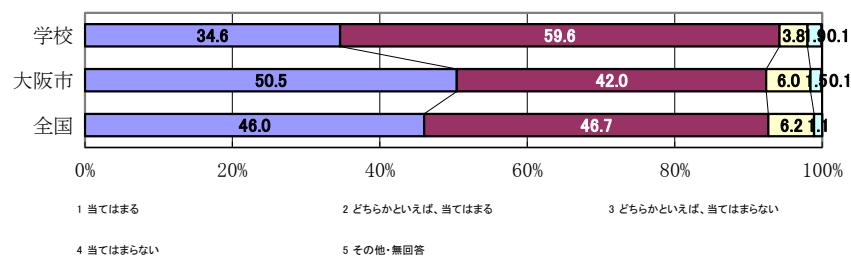
9

自分には、よいところがあると思いますか



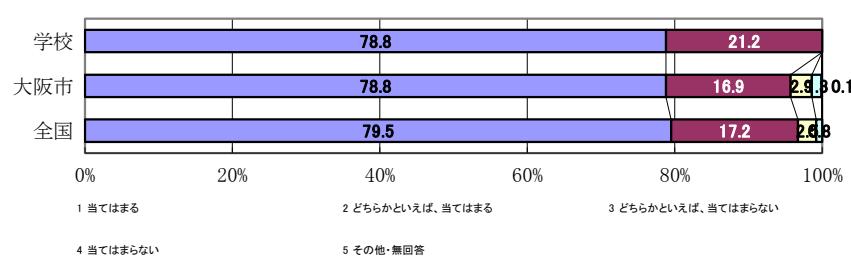
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



13

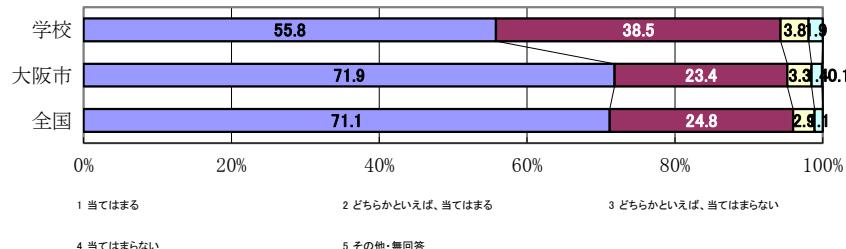
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



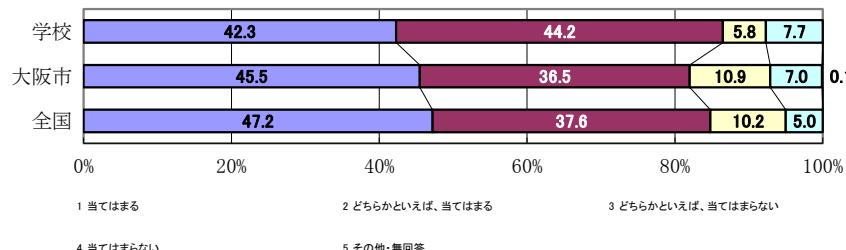
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

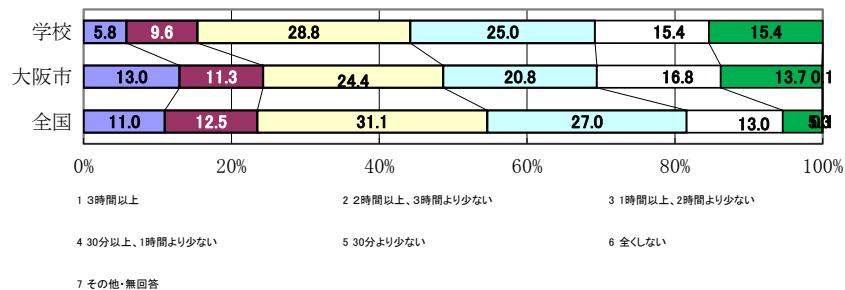
質問番号
質問事項
15
人の役に立つ人間になりたい と思いますか



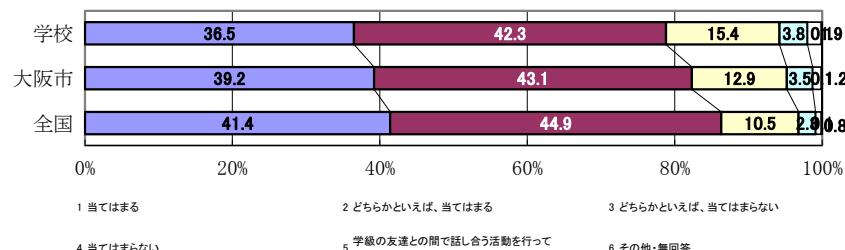
16
学校に行くのは楽しいと思いますか



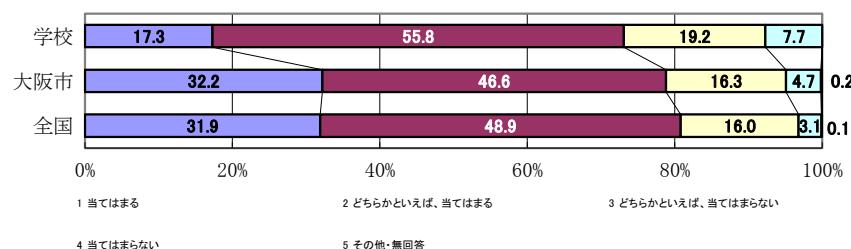
21
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



33
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



34
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかつた点を見直し、次の学習につなげることができますか



児童質問より

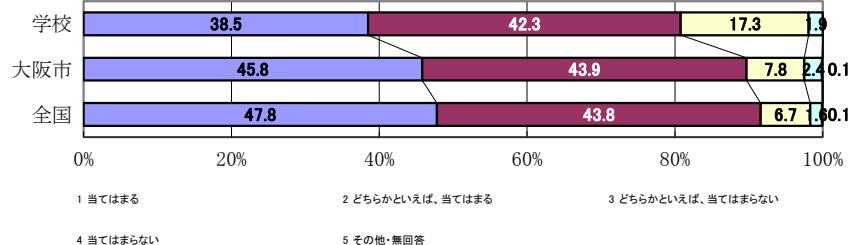
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

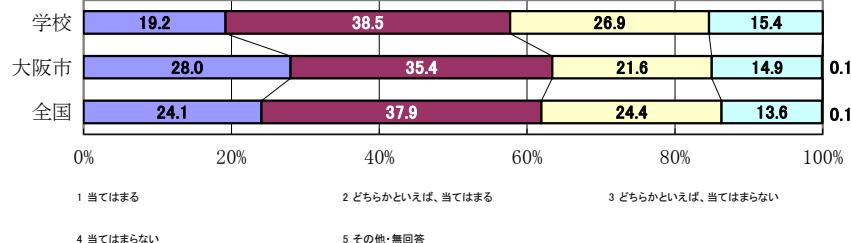
37

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



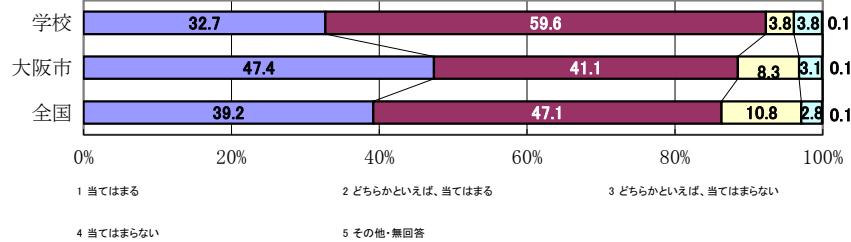
42

国語の勉強は好きですか



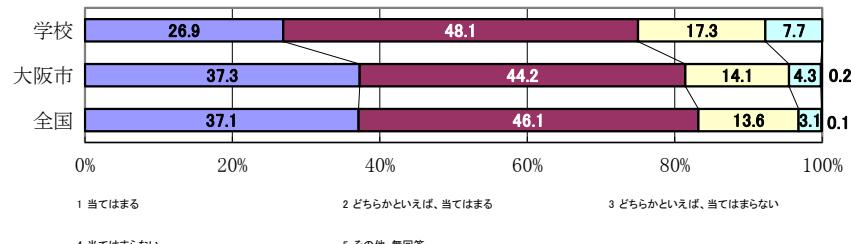
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



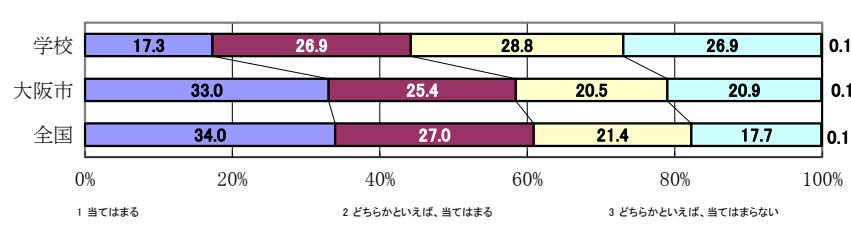
48

国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか



50

算数の勉強は好きですか



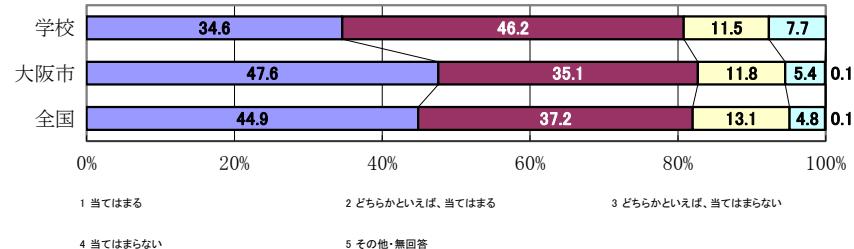
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

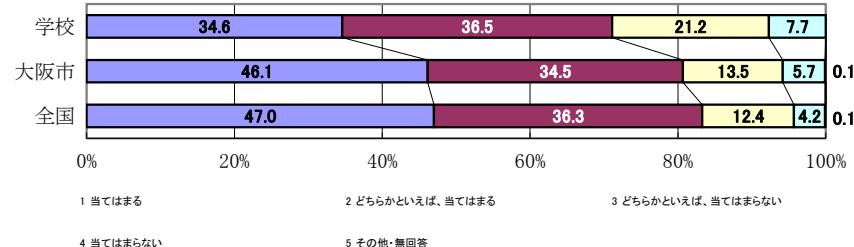
52

算数の授業の内容はよく分か
りますか



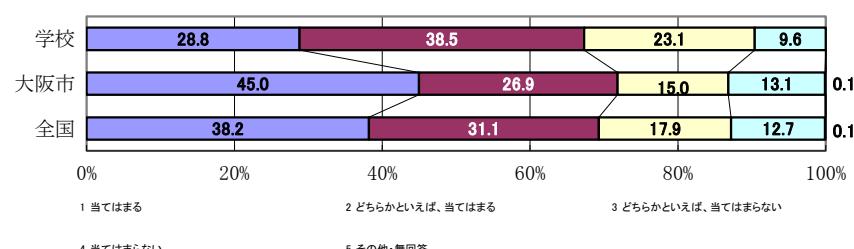
55

算数の問題の解き方が分から
ないときは、あきらめずにいろ
いろな方法を考えますか



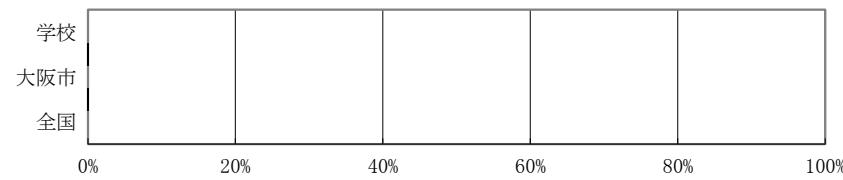
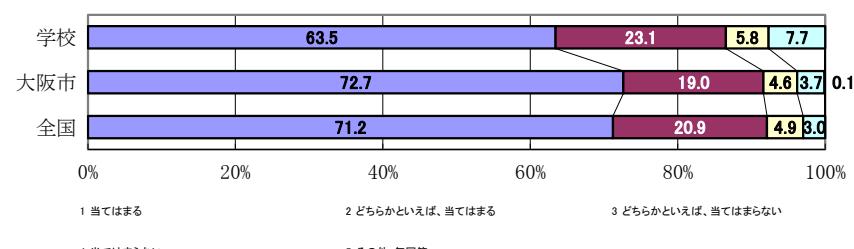
61

英語の勉強は好きですか



62

英語の勉強は大切だと思います
か



学校質問より

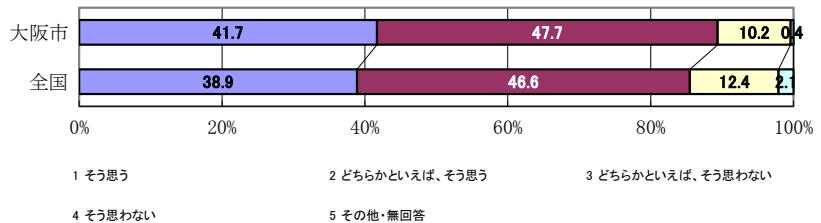
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

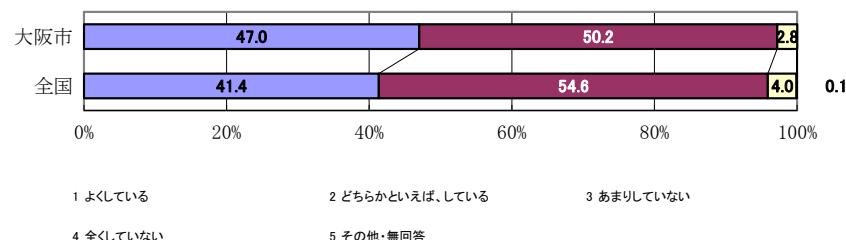
7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ちていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



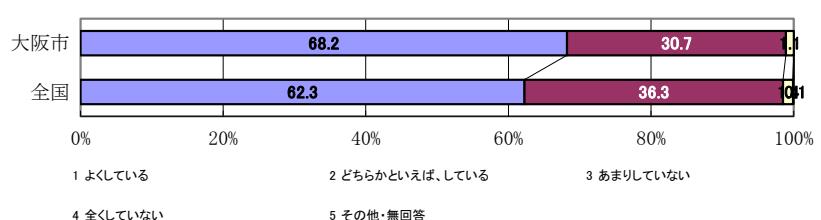
学校 「よくしている」を選択



15

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

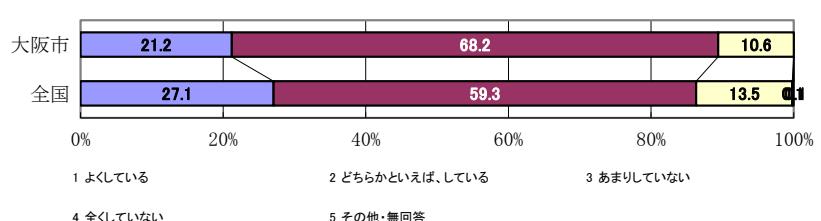
学校 「よくしている」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

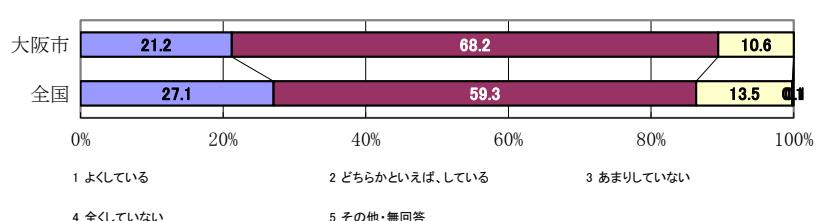
学校 「よくしている」を選択



18

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

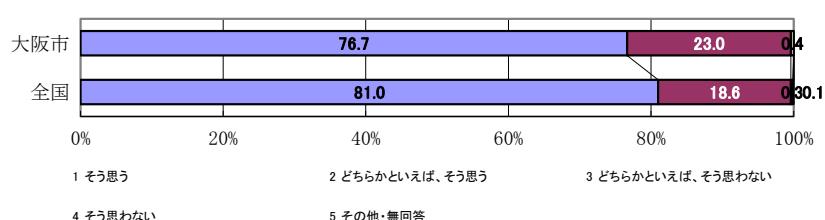
学校 「よくしている」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

学校 「そう思う」を選択



学校質問より

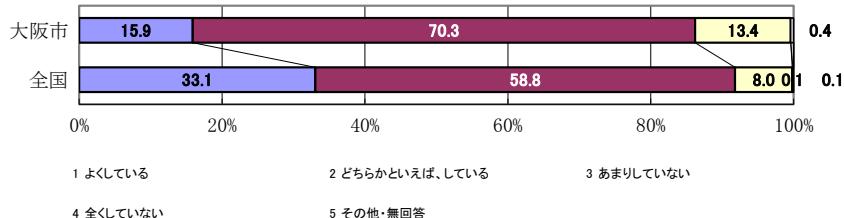
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

36

調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか

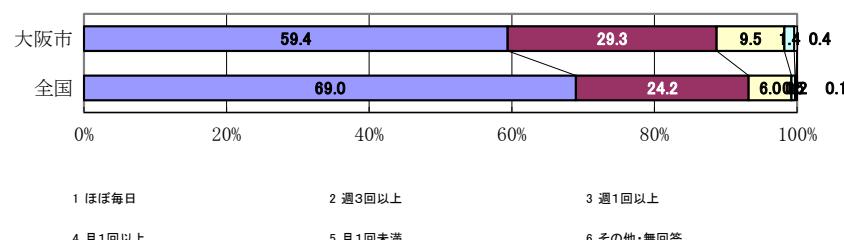
学校 「よくしている」を選択



56

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、児童一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

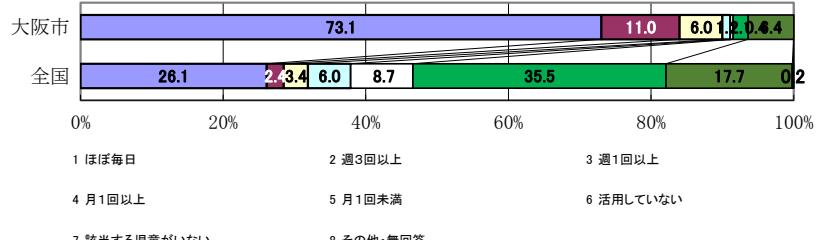
学校 「ほぼ毎日」を選択



65_5

(児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。)児童の心身の状況の把握

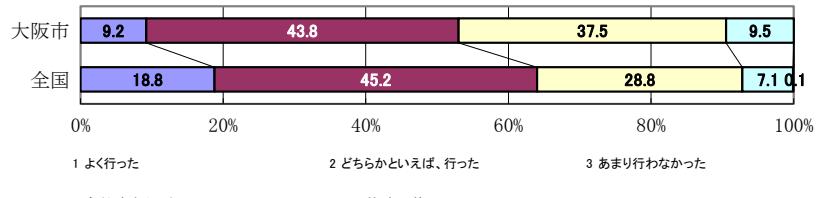
学校 「ほぼ毎日」を選択



68

前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか

学校 「よく行った」を選択



70

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか

学校 「そう思う」を選択

